

GO FOR KOGEI

「くらしと工芸、アートにおける哲学的なもの」をテーマに開催が決定

会期は 2024 年 9 月 14 日 (土) - 10 月 20 日 (日) の 37 日間

記者発表会を 7 月 10 日 (水) に東京・日本外国特派員協会 (FCCJ) にて開催予定

北陸から工芸の魅力を発信する取り組み「GO FOR KOGEI」第 5 回の開催が決定しました。2020 年に開始し、これまでに工芸を、それと隣接する現代アート、アールブリュット、デザインなどとともに横断的に紹介することで、豊かで広がりをもった姿として提示してきました。昨年は富山県の富岩運河沿いを会場に作家 26 名の作品展示と国際シンポジウムを行い、開始からのべ 14 万人以上に来場いただきました。

今年は岩瀬エリア (富山県富山市) と東山エリア (石川県金沢市) にて開催。ものづくりが古くから受け継がれてきた北陸にて「くらしと工芸、アートにおける哲学的なもの」をテーマに、作品展示のほかさまざまなイベントを開催することで、現代における新たな工芸を発信していきます。

開催概要

タイトル | GO FOR KOGEI 2024

テーマ | くらしと工芸、アートにおける哲学的なもの

会期 | 2024 年 9 月 14 日 (土) - 10 月 20 日 (日) [37 日間]

会場 | 富山県富山市 (岩瀬エリア)、石川県金沢市 (東山エリア)

主催 | 認定NPO法人趣都金澤、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁



Photo: Watanabe Osamu

[上] 岩瀬エリアにて観覧可能な葉山有樹「双竜」2023年
[下] 今年初開催となる東山エリアの街並み (イメージ)

総合監修・キュレーター：秋元雄史 (東京藝術大学名誉教授) より

くらしと工芸、アートにおける哲学的なもの

GO FOR KOGEI 2024 では、アルチザン、クラフトマン、デザイナー、アーティストが集まり、素材、技法、用途、表現といった近代工芸の特徴に改めて着目して、今日の多様な工芸と隣接するアートを紹介します。会場は、昨年からの継続となる岩瀬エリア (富山市) に、新たに金沢市の東山を加えて、二つのエリアで開催します。美術館のようなニュートラルな場所とは異なり、伝統的な町並みが残る両エリアでは、昔ながらの暮らしが営まれています。そこに今日的な工芸、アートを差し込むことで、普段とは異なるまちの姿を見せることができるでしょう。

岩瀬エリアでは、町並みや風景を生かしたサイトスペシフィックな作品を鑑賞し、地元の日本酒や食などを楽しめる場所と共に、ゆったりした旅の気分を味わうことができます。また、東山エリアでは、作品展示のほか 2021 年に実施した「工芸 × デザイン 13 人のディレクターが描く工芸のある暮らしの姿」をもとに発展させた、「もの」と「こと」が織りなすイベントを開催し、「工芸、アートにおける哲学的なもの」と言える深みを提示していきます。

これらの体験を通して、現代の生活における工芸とアートの新たな意味と価値をつかみ取ることができるでしょう。暮らしの中の、光、雨、匂い、音など、雑多な時間の中に存在する工芸は、単なる装飾物を超えてまちに溶け込み、社会と関わりを持つ事物として現れて、新たな価値と意味を加えていきます。



秋元雄史 (東京藝術大学名誉教授)

ご案内

2024 年 7 月 10 日 (水) 東京・日本外国特派員協会 (FCCJ) にて記者発表会を開催する予定です。

後日ご案内を差しあげますので出席ご希望の方は以下問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ

GO FOR KOGEI 広報事務局

東京都中央区日本橋蛸殻町 2-14-11 鴨下ビル 2 階 (株)ウインダム内)

メール | GFK@windam.co.jp

電話 | 03-5642-3765

FAX | 03-3664-3833

WEB | https://goforkogei.com

JAPAN
CULTURAL
EXPO 2.0

令和 6 年度日本博 2.0 事業 (委託型)